



『インスピレーションになろう』 Be the Inspiration

RI会長 バリー・ラシン 第2590地区ガバナー 金子 大

# 川崎中原ロータリークラブ会報

KAWASAKI NAKAHARA R.C. WEEKLY/2017~2018

会長・小泉 正博 幹事・徳安 久是 会場監督・今井 敬 会報委員長・戸張 裕康

事務所・〒211-0063 川崎市中原区小杉町 3-70-4 ホーユウパレス武蔵小杉 104

TEL.044-722-7282 FAX.044-722-0066 E-mail:info@nakahara-rc.com

◆例会場 ホテル精養軒 第1木曜日 PM12:30~ 第3木曜日 AM7:30~ TEL:044-711-8855

## 第 1445 回 (本年度 第 16 回)

平成 31 年 2 月 7 日 (木)

- 点 鐘 小泉 正博 会長
- 司 会 今井 敬 会場監督
- 斉 唱 「君が代」「奉仕の理想」
- 会員出席報告 江口 進 出席委員長

本日	会員数	出席	欠席	出席率
	28名	20名	8名	76.92%
前々回(1月10日)欠席7名		Makeup 1名	81.48%	

欠席者：中村会員、坂本会員、坂口会員、高木会員、都倉会員、渡久地会員

### お客様紹介 小泉 正博 会長

- ◆ゲストスピーカー  
新川 尚 様 (横浜旭 RC)
- ◆二村 政毅 様 (福岡城東 RC)
- ◆米山奨学生 韓 喬 君

### 会員お祝い

お誕生日おめでとうございます!

- 島田 叔昌会員 (S11.2.5 生)
- 坂本 耕一会員 (S55.2.26 生)



### 奨学金贈呈・近況報告

韓 喬 君



旧正月に入っていますが、10年間日本にいますのであまり実感が無いです。妻と水餃子を作って食べました。今年東京タワーで中国のイベントが開いているようなので行ってみようと思います。

### 委員会報告

- ◇江口 進 親睦出席委員長  
IM登録料 4,000円まだお納めでない方は、事務局までお願い致します。
- ◇宮崎玲児 次年度幹事  
本日例会終了後、被選理事会を開催致します。
- ◇市川 功一 地区国際奉仕委員長  
海外メイクアップツアーのご案内をポスティングしております。

### ニコニコ報告 江口 進 親睦委員長

- ◇横浜旭 RC 新川 尚様  
本日はお招き頂きありがとうございます。拙い話ですが宜しくお願いします。
- ◇小泉 正博 会長・徳安 久是 幹事  
皆さん、おはようございます。先日のIMにご出席の皆さん、お疲れ様でした。若い人たちの発想で企画されたIMでしたが素晴らしい内容だったと思います。しかし、あの講演で、もう私の時代ではないなと痛感させられたような気が致します。さて、今日は4月の陽気だそうで暖かくなっていますが、まだまだ2月です。風邪などひくことのないようご自愛ください。また、今日は横浜旭 RC の新川様にお越し頂き、卓話をお願いしております。どうぞ、当クラブに「新しい風」を送って下さい。宜しくお願い致します。

- ◇河合 東 会員  
新川さん、本日の卓話楽しみにしておりました。クラブ運営の秘訣をご教示下さい。
- ◇市川 功一 会員  
新川さん、いつもお世話になっています。今日は卓話よろしくお願いいたします。
- ◇SAA一同  
寒さの中にほんのり春の香りがして来ましたね。新川様、本日はお越し頂き有難うございます。

- ◇親睦委員会一同  
新川さん ようこそおいで下さいました。宜しくお願い申し上げます。

### 「みんなニコニコ」

- 高瀬 建夫 会員・若狭 滋則 会員・山本 剛 会員  
内藤 松雄 会員・堤 研司 会員・島田 叔昌 会員  
Mr. SUZUKI 会員

ニコニコボックス	本日	15,000 円	累計	339,000 円
記念日ニコニコ	本日	10,000 円	累計	65,000 円

## 卓 話 新川 尚 様 (横浜旭 RC) 「部会が育むクラブの活力」

本日はお招きいただき有難うございます。拙い話ですが何かの参考になればと思いますので、どうぞよろしくお願い致します。

きっかけは、2011年3月11日、未曾有の大災害が東北地方を襲いました。横浜旭 RC では被災地復興支援に何が出来るか、検討を始めました。その年7月に就任しました会長幹事の下、被災地クラブへの接触を開始しました。宮城県の岩沼 RC とご縁を得まして、同年内に数回の視察を実施、10月には旭区民ふれあい祭りにて、岩沼 RC の協力を得て被災地物品販売と写真展示、復興支援の募金を行いました。そのことと並行して、前年度より企画検討を始めていた地元中学生、高校生参加のロックコンサートを、社会奉仕委員会、青少年奉仕委員会を中心に準備を進めていました。このロックコンサートですが、背景には中学生、高校生の軽音楽部は活動の発表の場は文化祭や地元のお祭り程度しかなく、また本格的な音響設備の整った場所での演奏は費用の面、運営の面からも中高生だけでは難しい状況です。そこでバンド演奏に造詣の深い会員の発案で旭区内に所在する中学校、高校の軽音楽部全てに声を掛け、発表の場を提供することと致しました。生徒、保護者を含め300人程が集まる場を設けることができるのであれば、東日本大震災の被災者支援、募金活動も同時に行い、被災地の現状を知ってもらう、復興支援への関心を持ってもらう良い機会と捉え、復興支援委員会を交えチャリティコンサートとして2012年1月旭区の旭公会堂にて開催いたしました。

また、この機会を RC の広報の場として、また費用を捻出するため、趣旨にご賛同いただける企業にご協賛をお願いしました。このことは先々の会員増強につながっていく可能性があるものと考えております。その後、長年にわたり旭区長、区の地域振興課と協力関係を築いてきたこともあり3回目からは旭区の後援事業というお墨付きをもらうことができました。5回目には東日本大震災の被災地である宮城県の常盤木学園高校も2590地区の地区補助金を活用し、チャリティコンサートに参加していただきました。被災地の生徒達と地元旭区の生徒達との交流を果たすことができました。ここで常盤木学園の生徒さんの感想をひとつ紹介致します。

「今回は私達に貴重な体験をさせていただき本当に有難うございます。このような形で横浜に行くことができとても嬉しいです。私達の中には、たくさんの被害を受け辛い思いをした人もいました。周りの方の支えや支援のおかげで復興しつつあります。そして5年経った今でもこうしてチャリティコンサートを開いてくださる皆さんがいてくれることが本当に有難いと思いました。横浜旭 RC の皆さんは暖かく私達を迎えてくださり、最初から最後まで本当にお世話になりました。私達は、あのように大きなホールで演奏した経験はな

く不安や緊張でいっぱいでしたが、横浜の方々はとても優しく盛り上げてくれ楽しくライブをすることができました。今回のこの経験はこの先もずっと忘れません。私達の大好きな音楽で皆さんと繋がりを持つことができて良かったです。これからもたくさん練習してまたどこかで演奏できる機会があったら、今回のことを思い出して頑張ります」

この交流は、被災地の生徒と旭区の生徒双方に大変意義のあったものと考えております。このチャリティコンサートは今年で第8回目を迎えます。教育的な面からも生徒達の自主性を育成するため、徐々に運営を学生達に移行していきたいと考え、機材の搬入、搬出、タイムキーパーや募金集め等の業務を各校に担ってもらうこととしました。回を追うごとに出演各校の生徒たちは学校の垣根を越えて、音楽を楽しむ仲間としての交流を深めています。ある程度運営を任せただけで、自らがひとつのコンサートを作り上げたとして、一体感、達成感も育成されていると感じております。

2011年8月、東北への第1回目の被災地訪問の後、会員の昭和幼稚園園長を務められている矢田会員より、被災地の幼稚園、保育園に通う児童達へクリスマスプレゼントを渡してほしいという要望が岩沼 RC になされ、矢田会員個人が浄財10万円を贈られました。このことは当初、横浜旭 RC では承知しておらず、岩沼 RC から初めて知らされるという状況でした。この依頼に対し岩沼 RC は即座に対応くださり、プレゼント配布先として数カ所の幼稚園、保育園を選定し、12月には横浜旭 RC より数名の会員も訪問し、数回に渡りプレゼントの配布を行いました。以降、2014年に地区補助金を活用したり、チャリティコンサート時の募金と、旭ふれあい区民祭り時の募金とを合算し、その資金の一部とする体制を整え、毎年継続しております。昨年末は私も行ってまいりました。岩沼にてサンタになった当クラブ会員の感想は一言「子ども達の瞳が輝いていた」区民祭り、クリスマスプレゼント、チャリティコンサートと3本の事業は現在も継続しております。震災の翌年、2012年にはクラブ内で災害復興委員会を発足し、岩沼 RC との交流から友好クラブの打診があり、全会一致の承諾で2013年2月に友好クラブ締結を行いました。その間3本の事業を続けてまいりましたが、2015年になると横浜が被災した場合の防災体制に目が行くようになりました。

まず最初に執りかかったことは・・・

### 1. 会員間の緊急連絡網の整備

これが難しいものでして、若い会員は SNS 等ですぐに出来ますが、年齢層が上がってきますと FAX も覚束ないという状況。それでも一斉送信の安否確認を何回か試みているうちに7割は即答されるようになってきました。

### 2. 岩沼 RC とクラブ間の災害支援相互協定の締結

仮に不幸にしてどちらかのクラブが被災した場合、約1ヶ月程は、被災地クラブでは機能不全が予想され

ます。その間、相手クラブが代わって情報収集や出来る支援に動くというものです。これはロータリーの友にも特集記事として紹介されました。

### 3. 防災マニュアルの整備

手帳位の大きさのリーフレットを作成しました。名称を「てんでんこ」副題として防災簡易心得帳といいます。この「てんでんこ」は岩沼 RC と災害時相互支援協定を協議している過程で災害の認識の違いが表面化し、そのギャップを埋める副産物として生まれました。「てんでんこ」は区民祭りやコンサート等で配布したりしています。

2016年4月に熊本地震が起こりました。6月に被災地クラブと連絡が取れ、7月に視察に行ってきましたが、離れているとわからないことがたくさんあることに気付きました。ひとつは4月に被災し、3ヶ月後の7月時点でもロータリーの義援金が生かされていないということです。全国から集まった義援金は地区の対策本部に保管されたままで、8月に入って初めて、被災地のクラブが招集、義援金の使い道についての議論が始まりました。そんな中、2650地区（京都、滋賀、福井、奈良にまたがる地区）では、地区災害対策基金が整備されており、いち早く被災地 RC の要請により、義援金を送り、道路を塞ぐガレキの撤去作業に生かされたとのこと。被災地のニーズは時とともに変化します。義援金はその際活用すれば良いとは思いますが、夏祭りの景品への抛出とガレキ撤去への抛出とではその有効性に疑問を感じます。

岩沼 RC との交流の中で、色々なことを学びました。そのひとつに、被災地に必要なものを必要なタイミングでお渡しする。これがとても大切ということです。最近では災害の際、コンビニエンスストアのネットワーク機能が注目されています。広島豪雨の際、政府は自衛隊を使いこのコンビニエンスストアのネットワークを使い支援物資を供給するという仕組みが機能しました。またコンビニの会社でも被災地に物資を優先して配送する手立てを構築し行っております。そんな中、炊き出し支援を行ったところ、コンビニのおにぎりを腐らせてしまったという事がありました。また、被災地学童にランドセルが不足しているとの情報から、全国からランドセルが被災地 RC に届けられましたが、誰がそれを配るのかという問題が発生しました。結局、被災した RC の会員が手分けをして届けたそうです。どちらも有意義な事ですが、送る側と受け取る側の mismatch を防ぐための方法を考えさせられる出来事であり且つ考えなくてはいけない事がたくさんあると強く思いました。

横浜旭 RC では2016年7月の熊本での視察後、現地の役所の要請で、仮設住宅に移られた方の生活の移動手段として自転車を寄贈してもらえないかとの要望が届きました。そこでクラブ災害支援委員会で協議した結果、横浜市の放置自転車を払い下げしてもらい、それを送るのはどうかとの提案があり、早速横浜市に依

頼をかけ、10月に50台、11月に50台、計100台の払い下げ自転車の目処が経ちました。ただ市内26ヶ所の自転車置き場から回収し、さらにコンテナで熊本に届ける作業はクラブの負担となります。経費の捻出には近隣クラブまた岩沼 RC からの協力を得ることができましたが、それでも経費を少しでも抑えるため、サドル、ペダルを会員自ら取り外し、ハンドルを90度に曲げ積みやすくしコンテナ駅に運び、冷たい雨の降る中、自転車を積み込み、JR貨物で熊本まで運んでもらいました。熊本の宇土 RC を経て役所へ届け、被災された皆さまの足として利用していただきました。このことは、ロータリーの友はもちろん、各新聞、TVK、タウンニュースにも紹介されました。

後日、宇城 RC の幹事から次のような礼状が届きました。「早速のご対応感謝いたします。後寄贈いただきました宇城市役所分は責任を持って組立て点検を完了し、会員の整備工場から本日宇城市役所に納めさせていただきました。守田市長を初め浅井副市長も大変喜んでおられました。自転車をコンテナから降ろし組立てをしながら思いました。錆び付いたネジを緩め、固く締まったハンドルを自由にし、少しでも傷を付けないよう、多く積めるよう大変な作業だったと思います。今回の地震で全国のロータリアンからご支援をいただきました。改めてロータリーの素晴らしさ、そしてロータリアンの高潔性を感じ心が震えました。大切なお時間を頂戴し、エネルギーを使っただき、もちろん輸送費等も大変だったろうと心得ます。追って、宇城市長からもお礼の挨拶が届くと思いますが、まず私からこのプロジェクトに関わって頂いた全ての皆様に心から御礼申し上げます。本当に有難うございます」また、熊本から後日直接お礼に見えられ、実際に自転車を使っている方のビデオレターを紹介していただきました。会員からは「やって良かった」という声をたくさんいただきました。

被災地に素早い支援、支援の効率化、有効性、透明性が求められる今、地域の人間的なふれあいの中で被災地ニーズを発見し、寄り添う支援のあり方、大変大きな課題であると考えます。ロータリーは I serve を前提に活動していますが、緊急時には、できること、皆があらゆるチャンネルを総動員して人々を支える、また備える。このことが大事ではないでしょうか。先程ご紹介した 2650 地区の地区災害対策基金の規約の中にこんな言葉があります。

「基金は緊急時の対応であり、その後の継続的な支援については持続可能で且つ人々の自立を支援するようなロータリーらしい奉仕が求められているのは言うまでもない。自然現象を含めロータリーも不足の事態に備えて危機管理を今まで以上に充実しなくてはならない時代に対応する」とあります。微力ながら2018年9月26日、横浜旭 RC では横浜旭 RC 災害支援基金を設立いたしました。その指針を紹介させていただきます。

①災害に際して、これまで多くの犠牲に遭遇し、その



教訓として今私達が出来た事を迅速に行動に移す為に基金を設立する。

②被災地 RC の支援事業に特化し、被災地に寄り添った支援、効果的な支援を目指す。

③基金は緊急時の対応であり、その後の継続的な支援については持続可能で且つ人々の自立を支援するようなロータリーらしい奉仕が求められているのは言うまでもない。自然現象を含めロータリーも不足の事態に備えて危機管理をこれまで以上に充実しなくてはならない時代に対応する。

2018年9第2650地区災害指針より引用。

現在、会員はもちろん、OBにも呼びかけ、地域企業、個人にも協賛をお願いしております。資金も大切ですがもっと大切な事があります。それは東日本大震災での岩沼 RC、熊本地震での宇土 RC、宇城 RC、益城町のりんどろ RC というように、クラブ間の交流です。岩沼 RC とはチャリティコンサートを通じ、相互の高校生交流、千年希望の丘の植樹、語り部の方の案内での被災地視察等、若者に何かを感じ、伝えてもらいたい。そんな思いから岩沼 RC と共同で事業をやってまいりました。そして友好クラブの締結、災害時相互支援協定へと発展してまいりました。熊本でも club to club 支援が送る側と受ける側のミスマッチをなくし、タイムリーで有意義な支援へ、互いのロータリアンにやりがいのような、ロータリーをやっていて良かったという思いに繋がりました。

club to club の支援、全国 2200 のクラブが手を取り合い、地域のニーズの寄り添い、ロータリーなら出来る、ロータリーだからこそ出来ると考えております。振り返って考えますと、横浜旭 RC は、いわゆる委員会とは別に、あるプロジェクト、目的に特化した部会を設立し、そのメンバーは有志となっております。自ら志願してその部会に所属し、複数年に渡り活動を続けております。一例として数年前に設立したのがめだか部会です。日本固有の在来種で絶滅危惧にある黒めだかを近隣住民に頒布し、育成方法を伝授、養殖に一役買ってもらう、尚且つ育成を通じて環境問題について考えてもらう、そんな目的から 10 年間の活動の後、役目を全うし終結しました。そして今はチャリティコンサート部会と災害対策委員会が存在します。数年にわたる部会活動だと継続し易く次々と発展させていくことが容易になってきます。チャリティコンサートから被災地支援と青少年交流、クラブ間交流から友好クラブ、災害時相互支援協定。そして今、クラブ内の災害対策支援基金と発展しています。何より有志で組織しているから議論が活発です。次々とロータリーでやりたいことが湧いてきます。今後は club to club のネットワーク構築を目指してまいります。

最後に誤解していただきたくないのが、決して各委員会組織を否定しているわけではありません。1 年毎の制度を否定しているわけでもありません。複数年かけて段階的に発展していく活動と考え、実行

していくことが結果として、会員のやりがいに繋がり、クラブ活性化のひとつとなっているものと考えます。本日はご清聴いただきありがとうございます。



## 2月21日 報告事項

### 小泉 正博 会長 徳安 久是 幹事

#### 1. 地区からの来信

①2021-22 年度 ガバナーノミニニー・デジグネート告知確定宣言が届いております。

2月12日付にて、横浜 RC ご推薦の 小倉 正 (おぐら ただし) 氏が 国際ロータリー第 2590 地区 2021-22 年度 ガバナーノミニニー・デジグネート (ガバナー候補として指名された方) に 確定。

②会長エレクト研修セミナーのご案内。

日時：2019年3月18日(月)10:30-17:30  
場所：メモワールプラザソシア 2 1

※徳安会長エレクト、ご出席お願い致します。

③2019-20 年度、地区研修・協議会開催のご案内。

日時：2019年3月31日(日) 12:30-18:00  
場所：聖光学院中学・高等学校

※出席義務者の方には、ご案内状をお渡し致します。

④ロータリーレート変更のお知らせ

**訂正** 2019年2月より、1ドル=110円

#### 2. 川崎南 RC より、事務所移転のお知らせ。

新住所：〒210-0006 川崎市川崎区砂子 2-8-1  
シャンボール互恵ビル 408  
TEL・FAX は変更なし

#### 3. 他クラブ例会臨時変更

●川崎麻生 RC

2月22日(金) クラブ創立記念例会 ホテルリノ 7F  
「梅の花」点鐘 18:00

●横浜あざみ RC

3月7日(水) 休会  
4月24日(水) アートフォーラムあざみ野 点鐘 12:00  
14:00~チャリティコンサート

●川崎高津 RC

3月28日(木) 夜間例会 お花見夫人デー  
「福住会員邸」点鐘 17:00

#### 4. 3月7日(木) 例会前 11:00~定例理事会を開催

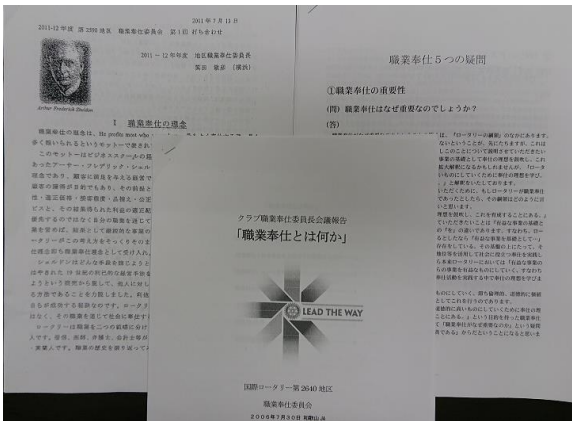
## 川崎中原 RC 第4回研修会

テーマ：ロータリーを共に考えましょう  
 日 時：2月14日(木)  
 場 所：小林正樹会員のお店(ピョピオ)  
 卓 話：「職業奉仕とは何か」 小林正樹会員



## 今後の予定

- ◇ 2月21日(木) **早朝例会**  
 点鐘7:30 ホテル精養軒  
 卓話：川崎商工会議所中小企業振興部部長  
 (川崎支所長兼務) 中野 雅之氏  
 「川崎の産業について  
 ～ 後継者づくりについて～」
- ◇ 3月7日(木) **例会**  
 点鐘12:30 ホテル精養軒  
 卓話：米山奨学生 韓 喬君
- ◇ 3月14日(木) **早朝例会**  
 点鐘7:30 ホテル精養軒  
 クラブフォーラム(職業奉仕)  
 堤 研司会員・井元雄一会員



## 《懇親会》

